

## 国資格に係るカリキュラムについての基本的枠組み

### I. 国資格化による心理師の人材像

心理師とは、心理師の名称を用いて、教育・発達、医療・保健、福祉、司法・矯正、産業等の分野において、以下の業務を行なう者とする。

- ① 心理的な支援を必要とする者とその関係者に対して、心理学の成果にもとづき、アセスメント、心理的援助、心理相談、問題解決等を行なう。
- ② ①の内容に加え、国民の心理的健康の保持及び増進を目的とした予防並びに教育に関する業務を行なう。

### II. 国資格化に係るカリキュラムについての基本的枠組み

#### 1. カリキュラムに求められる知識および技術—何(What)を学ぶか?—

(1) 諸分野の活動領域に対応できる知識及び技術

教育・発達、医療・保健、福祉、司法・矯正、産業等の分野に対応できる知識及び技術が必要である。

(2) 生涯発達における様々な心理援助レベルに対応できる知識及び技術

生涯発達における様々な心理援助レベルに対応できる知識及び技術が必要である。

(3) いろいろな心理的援助の介入レベルで動けるための知識及び技術

個人レベルの介入、集団レベルの介入、ネットワーク・レベルの介入、システム・レベルの介入で動けるための知識及び技術が必要である。

(4) コラボレーションを可能にする知識及び技術

人間は、バイオ・サイコ・ソシオ・スピリチュアルな存在であると言われる。そのため、単なる心理的援助だけでは十分に援助できないことも多い。他職種とのコラボレーションができることが求められ、そのための知識及び技術が必要である。

#### 2. カリキュラムに求められる学習の仕方—どのように(How)学ぶか?—

(1) 理論学習と実践経験のバランス

広く深く理論を学ぶことと、実践をしながら援助の経験を積み重ねていくことが求められる。

(2) 学内実習と諸分野における学外実習

学内実習と諸分野における学外実習を通して実践経験を積むことが必要である。

### 3. カリキュラムの基本構造

カリキュラムの基本構造の作成では、①各大学の特色が打ち出しやすいようにできるだけ大枠でまとめる、②大枠という方針のために、必修、選択必修、選択といった区別や単位数については明示しないことにした。

#### 学部カリキュラム

<p>(1) 心理学基礎科目</p> <p>*心理学の概論、研究方法等について基礎的に学ぶ</p> <p>*科目の例示：心理学概論、心理学研究法、心理統計法、心理学基礎実験実習、心理アセスメント実習等</p>
<p>(2) 心理学発展科目</p> <p>*心理学の各論、心理学の周辺領域について学ぶ。</p> <p>*科目の例示：基礎心理学関連科目、発達・教育関連科目、社会・産業心理学関連科目、臨床応用心理学関連科目、医学関連科目等</p>
<p>(3) 実践実習科目</p> <p>*教育・発達、医療・保健、福祉、司法・矯正、産業等の分野での見学・体験実習を行う。</p> <p>*科目の例示：心理学実践領域実習（医療・福祉・教育領域などの見学・体験実習）</p>

### Ⅲ. 国資格化に係るカリキュラムの「参考モデル」

前述のカリキュラムの基本構造では、大枠という方針のために、必修、選択必修、選択といった区別や単位数については明示しないことにしたが、具体的なイメージがしやすいように、それらを明示した「参考モデル」を以下に記載する。これらは各大学の事情・特色に応じて各大学が「独自モデル」を作成するための参考である。

### 1) 学部カリキュラム

学部カリキュラムの「参考モデル」として1つのモデルを提示する。

#### (1) 学部教育カリキュラム案

科目区分	科目名	単位数
心理学基礎科目	A.心理学概論	2 必修
	B.心理学研究法	2 必修
	C.心理統計法	2 必修
	D.心理学基礎実験実習	2 必修
	E.心理アセスメント実習	2 必修
心理学発展科目	F.基礎心理学関連科目 学習心理学・知覚心理学、認知心理学、感情心理学、思考心理学、言語心理学、行動分析学、比較心理学、比較行動学、生理心理学、神経心理学、動物心理学など	8 選択必修
	G. 発達・教育関連科目 発達心理学、乳幼児心理学、児童心理学、青年心理学、生涯発達心理学、教育心理学、教育評価、教授心理学、学校心理学、教育学（学校教育制度論・教育経営学、社会教育学を含む）など	6 選択必修
	H. 社会・産業心理学関連科目 社会心理学、実験社会心理学、集団心理学、対人関係論、家族心理学、産業心理学、コミュニティ心理学、組織心理学、マスメディア心理学、社会福祉学（障害児・者及び高齢者の福祉制度論を含む）など	6 選択必修
	I. 臨床応用心理学関連科目 臨床心理学	8 (2 必修)

	<p>人格（性格）心理学、心理療法論、精神分析学、深層心理学、カウンセリング論、認知行動療法論、集団心理療法、健康心理学、ストレスマネジメント論、発達臨床心理学、教育（学校）臨床心理学、障害児（者）心理学、犯罪心理学、司法・矯正心理学、医療心理学、高齢者臨床心理学など</p> <p>J.医学関連科目 医学概論（小児医学、心身医学を含む）、精神医学概論（精神医学及び精神薬理学の基礎を含む）</p>	<p>（6 選択必修）</p> <p>2 どちらか一方を選択必修</p> <p>合計：5領域30単位</p>
実践実習科目	K. 心理学実践領域実習（医療・福祉・教育領域などの見学・体験実習）	2単位必修
計		42